

第125回 日本小児科学会報告 2022.4月 郡山

皆様に役立つような最新の知見をお届けいたします。（※は平井のコメントです）

新型コロナウイルス感染症

オミクロン株になって変わった症状：味覚障害↓、悪心嘔吐↑、咽頭痛↑、クループ↑

こどもの感染：人口比で、数%~20%越えになった。家庭内感染がほとんど。基礎疾患が重症化の危険因子。合併症は少ないが、クループ・肺炎が知られています。

治療薬：レムデシベルは効果あり。アビガンは効果なし。デカドロン（※当院でも処方できます）は重症化予防に効果あり。OBP-2011、フェナンスリジノン誘導体が検討中

こどものコロナワクチン：副反応は大人より少ないようです。局所反応も少ないです。



（※接種量が少ないからかもしれません）

オミクロン株にも効きます。間隔は3週間が基本。それを過ぎたらできるだけ速やかに。（将来変わるかもしれません）

熱傷：直後は冷やし、傷口は洗う。被覆材で覆うのが良いが、はがしてしまう子にはワセリン等塗布。

（※狭い範囲の2度までの熱傷は当科でも治療できます）



起立性調節障害（OD）：重症例は生食2L 静注も効果あり

むずむず脚症候群：軽傷まで含めると、小児の2~4%に認める。家族歴があることが多い。

足の不快感が主訴でないことが多い。休憩・睡眠で悪化し、動かずにいられない、動くと和らぐのが特徴。

鉄・フェリチン・亜鉛減少のことがある。鉄剤で症状が緩和することがある。

（※当院で検査治療できます。難治の方は紹介いたします）

睡眠：早い時刻の睡眠は徐波睡眠が多く、この時に成長ホルモンが分泌される。

記憶力も良くなる。体内時計のコントロールの為には、朝の光、朝食が大切。

（※睡眠をつかさどるホルモンそのものを薬物として処方できます）

DSWPD（睡眠相後退症候群）：夏休み明けが多い。放置するとどんどん寝る時刻起きる時刻が遅くなる。



アトピー性皮膚炎：PDE4阻害薬のジファミラスト（モイゼルト軟膏）が今年（2022）出るかもしれません。

新しい作用機序です。JAK阻害剤のコレクチム（※当院でも処方しています。かなり有効です）は眼瞼炎にもいい。

学校でのAEDの使用が広がり、明らかに突然死が減少した。居合わせた人が助けてくれている。

漢方薬：雨天前の頭痛（気圧が下がってくる時の頭痛）には五苓散が効く。慢性下痢・便秘（過敏性腸症候群）には小建中湯。既存の薬で効果乏しい夜尿、保育園などで風邪をひきやすく治りにくい方にも効く漢方があります。

（※かかりつけでご希望の方には伝授いたします。ご相談ください。）

平井こどもクリニック